



高等部体育祭(全力をだしきる)

先週の土曜日に高等部体育祭を実施しました。生徒は、優勝目指して、力一杯走ったり、友達を応援したりすることができていました。競争の途中で負けることが分かっていても、最後まで自分の力を出し切ろうと一生懸命に走り続ける姿も見られました。また、フェアプレーで競技をすることもできていました。全力を出し切ったことで、勝った喜びはとても大きいものとなります。逆に負けた時の悔しさは、とても大きいものとなりますが、悔しさを体感することもとても大切な学習です。フェアプレーで、全力を出し切るからこそ、相手の頑張りも分かり、勝者も敗者もお互いにたたえあうことができると考えます。

全力を出し切ること、他人を認め、敬意を払うことができる大きな心、自分に負けずに頑張り続ける強い心を育むことができると考えます。

これからも、どんなことでも、どんな時でも、最後まで全力で頑張ることができる力を育てていきたいと思えます。(山賀)

